

# 1) 医師にかかる場合に必要な情報

- ◎主訴（症状）⇒何を診てほしいのか=具体性が重要。いつからか、どのように変化しているか。
- ◎既往歴⇒これまで罹った疾患（例：●歳～糖尿病、●歳一〇〇の手術…）  
内服薬⇒服用している薬
- ◎家族既往歴：家族の病気のこと（例：何の病気で何歳で亡くなったか）
- ◎生活歴⇒飲酒歴、喫煙歴、アレルギー
- ◎生活状況⇒住環境、家族形態
- ◎基礎疾患⇒知的障害についてどのような説明をされてきたか（例）てんかんに伴う知的障害、染色体異常に伴う知的障害
- ◎利き手
- ◎てんかんの有無。あるとしたらいつ頃からか。また発作の頻度。
- ◎注意事項⇒主観で伝えず客観的で具体的な情報で状況を伝える。例えば歩行に問題が出てきている時の表現として。良い例：歩行時に躊躇やすい　悪い例：足が弱ってきてる
- ◎持参物⇒お薬手帳、過去の健康診断データ